

妙義山山行報告書

M4 田中李樹

○日程

2015 年 5 月 23 日 (土)

○参加者(敬称略 2 名)

M4 田中 C2 上村

○行程

7:40 妙義神社～8:25 大の字～8:40 辻～9:20 見晴～10:00 大のぞき～10:20 天狗岩～10:30 タルワキ沢の科尔～10:50 相馬岳～11:00 国民宿舎分岐～12:00 茨尾根のピーク～12:10 ホッキリ～12:30 女坂分岐～13:10 鷹戻しの頭～14:00 エスケープルート分岐～14:15 東岳～14:40 中ノ岳～15:00 石門分岐～15:20 石門入口

○本文

表妙義を縦走する計画を立てた。難易度が高いとされるコースのため、ヘルメットを装着し出発した。

妙義山からの登りはじめはウォーミングアップのつもりだったが、意外と傾斜がきつくしんどい。時折休憩しつつ大の字に到着。大の字手前の鎖場はそこそこ急で、登り切ると突然視界が開けた。大の字を後ろから撮影して満足し、先を急ぐ。辻を過ぎた後本日最初の難所、30m の鎖場。Web 上の山行記録を見る限り、大したことはなかろうと思っていたが、いざ登ってみると意外と厄介。足場は切ってあるが手を置く場所がない。ところどころ鎖に頼らざるを得ない。思っていたより厳しい山行になりそうだと気付く。その後、階段状に足場の切られた鎖場を越え見晴らしに到着。裏妙義や浅間山が良く見える。

休憩の後、相馬岳に向けて出発。ビバリ岩や背ビレ岩など、面白い岩場が続く。通過は難しくない。大のぞきからすぐ 10m2 本と 30m1 本の鎖が現れた。初めは腕力を温存するため岩につかまりながら下ったが、どうにも引っかけが少ない。途中で諦めて、鎖に頼り足を岩に垂直にして下りることにした。そうやって下りればなんということはないのだが、距離がやたら長くて疲れる。ここで今回の山行を計画したことを少しだけ後悔した。

天狗岩をさっさと通過し、相馬岳に着くと、先に来て休んでいる二人組がいた。記念撮影だけお願いして先を急ぐ。この先の茨尾根は難しい岩場はないがザレていて歩きにくい。下に別の登山道があるため、石を落とさないよう慎重に通過した。暫く進むと有名な鷹戻しに辿りつく。鎖と梯子計 60m とのこと。つかむところが全くなく、腕力だけで体を引き上げなければならない個所がいくらかあったが、思ったほど通過は難しくない。鷹戻しにて暫し休憩。休憩後すぐにルンゼ内二段 25m 鎖に辿りつく。今回の山行では、ここの通過が最も難しかったように思う。垂直よりさらに被り気味の岩で足場も乏しいところを、鎖を握りしめて慎重に慎重に下った。なんとか下りきることに成功。ここでは反対向きに進んできたパーティなど何人かが重なっていた。中には山岳ガイドらしき人や妙義山に毎年

訪れるという人もいて、何となく安心して通過できた。

この先も三段 30m 鎖や 50m 鎖など、派手な岩場はあったが、先ほどのルンゼ内二段 25m 鎖に比べれば痛くも痒くもないという感じで、さっさと通過していった。金洞山から下り始めると、樹林帯に入りのんびりした登山道になる。石門を見物して下山した。

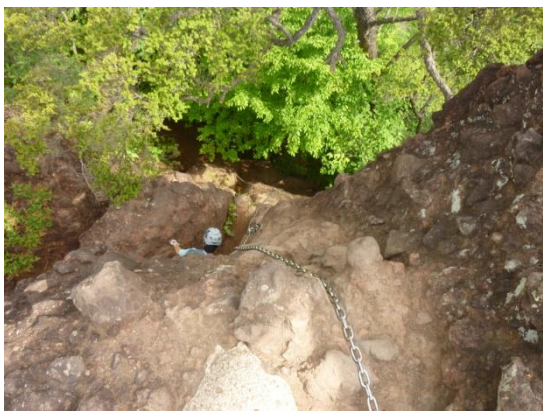
下山後はタクシーでもみじの湯温泉に行きゆっくりお湯につかって帰った。途中少し怖くなる岩場もあったが、日帰りとは思えないほど充実し、個人的には大満足の山行であった。



大の字後ろから



奥の院横の鎖場



大の字手前の鎖



見晴らしより



間を通過



10m2 本と 30m 鎖



相馬岳山頂にて



背ビレ岩



面倒なトラバース



鷹戻し梯子



ルンゼ内二段 25m 鎖を振り返る



鷹戻しの頭にて



中ノ岳



ルンゼ内二段 25m 鎖



石門